

2025年度(令和7年度)学校法人辻料理学館

辻調理師専門学校 東京 第1回 学校関係者評価委員会

議事録

日時	2025年8月5日(火) 14時00分～16時00分
場所	辻調理師専門学校 東京 209教室
出席者	<p>【学校関係者評価委員】</p> <p>第1号委員(業界関係者)</p> <p>間 光男 株式会社寺子屋 代表取締役・オーナーシェフ</p> <p>石井 英美 アディクト・オ・シュクル オーナーシェフ</p> <p>第2号委員(卒業生)</p> <p>横川 洋子 調理師本科卒</p> <p>関口 めぐみ 製菓衛生師本科卒</p> <p>第3号委員(在校生保護者)</p> <p>西尾 麻利 調理応用技術マネジメント学科 在校生保護者</p> <p>杉浦 正絵 製菓応用技術マネジメント学科 在校生保護者</p> <p>第4号委員(高等学校等の進路担当者等)</p> <p>本間 恒男 都立青梅総合高等学校 推進部 主幹教諭 キャリア支援担当</p> <p>渡辺 英子 東京早稲田外国語学校 名誉校長</p> <p>第5号委員(学校運営専門家、地域の地方公共団体等関係者または第三者評価機関の評価者等)</p> <p>大熊 雅士 小金井市教育委員会 教育長</p> <p>【学校側出席者】</p> <p>百野 浩史 校長</p> <p>棟方 浩一 法人本部長</p> <p>小竹 龍児 教育部長</p> <p>岡田 裕 教育副部長</p> <p>喜多村 貴光 教育副部長</p> <p>松本 しのぶ 事務長</p>
配布資料	<ul style="list-style-type: none">・議事次第・学校関係者評価委員会 委員名簿・2024年度(令和6年度)自己点検・評価報告書・教務/財務資料・評価フォーム記入依頼書
議案	<ul style="list-style-type: none">・自己点検評価結果の概要説明・質疑応答および意見交換
議事経過	<p>1. 開会 定刻となり、事務局は開会を宣した。</p> <p>2. 委員紹介 事務局より、委員の紹介がなされた。</p> <p>3. 校長挨拶 百野校長より、開会の挨拶と本会議の目的について説明があった。</p> <p>4. 委員長などの選出 委員会規程に基づき、委員の互選により、委員長に間氏、副委員長に石井氏が選出された。</p> <p>5. 議事 自己点検評価結果についての説明の後、質疑応答および意見交換が行われた。</p>

(資料「自己点検・評価報告書」をもとに、棟方法人本部長、小竹教育部長、岡田教育副部長、喜多村教育副部長、松本事務長より、それぞれの項目ごとに説明がなされ、質疑応答、意見交換が行われた。)

6. 閉会

百野校長より、本日の委員会への謝辞が述べられた。

最後に、事務局より、次回の会議は2025年12月6日(土曜日) 14時00分より行う旨の事務連絡が行われ、閉会を宣し、散会した。

以上

2025年度(令和7年度)学校法人辻料理学館

辻調理師専門学校 東京 第2回 学校関係者評価委員会

議事録

日時	2025年12月6日(土) 14時00分～16時15分
場所	辻調理師専門学校 東京 209教室
出席者	<p>【学校関係者評価委員】</p> <p>第1号委員(業界関係者)</p> <p>間 光男 株式会社寺子屋 代表取締役・オーナーシェフ 石井 英美 アディクト・オ・シュクル オーナーシェフ</p> <p>第2号委員(卒業生)</p> <p>横川 洋子 調理師本科卒 関口 めぐみ 製菓衛生師本科卒</p> <p>第3号委員(在校生保護者)</p> <p>西尾 麻利 調理応用技術マネジメント学科 在校生保護者 杉浦 正絵 製菓応用技術マネジメント学科 在校生保護者</p> <p>第4号委員(高等学校等の進路担当者等)</p> <p>本間 恒男 都立青梅総合高等学校 推進部 主幹教諭 キャリア支援担当 渡辺 英子 東京早稲田外国語学校 名誉校長</p> <p>第5号委員(学校運営専門家、地域の地方公共団体等関係者または第三者評価機関の評価者等)</p> <p>大熊 雅士 小金井市教育委員会 教育長</p> <p>【学校側出席者】</p> <p>百野 浩史 校長 棟方 浩一 法人本部長 小竹 龍児 教育部長 岡田 裕 教育副部長 喜多村 貴光 教育副部長 松本 しのぶ 事務長</p>
配布資料	<ul style="list-style-type: none">・議事次第・学校関係者評価委員会 委員名簿・2024年度(令和6年度)自己点検・評価報告書・教務/財務資料
議案	<ul style="list-style-type: none">・第1回学校関係者評価委員会における意見、要望について・評価結果について
議事経過	<p>1. 開会 定刻となり、事務局は開会を宣した。</p> <p>2. 委員紹介 事務局より、委員の紹介がなされた。</p> <p>3. 校長挨拶 百野校長より、開会の挨拶と本会議の目的について説明があった。</p> <p>4. 委員長などの選出 委員会規程に基づき、委員の互選により、委員長に間氏、副委員長に石井氏が選出された。</p> <p>5. 議事 第1回学校関係者評価委員会における意見や要望について、学校側出席者から学校の現状・取り組み内容の説明がなされた。</p>

(資料「自己点検・評価報告書」等をもとに、小竹教育部長、岡田教育副部長、喜多村教育副部長、松本事務長より説明がなされた。)

学校側からの説明後、学校関係者評価委員のみで議論がなされ、評価結果が決定された。その後、決定した評価結果について、石井副委員長から学校側出席者に説明がなされ、間委員長より、2025年度(令和7年度)学校関係者評価委員会の総括が述べられた。

6. 閉会

百野校長より、本日の委員会への謝辞が述べられた。
最後に、事務局が閉会を宣し、散会した。

以上

2025年度(令和7年度) 学校法人辻料理学館 辻調理師専門学校 東京
学校関係者評価委員による評価結果

※評価基準 4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切

項目	意見・要望	評価
1 教育理念・目標	<p>▶意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育理念が非常に明確で、現代のニーズに合った教育目的・教育目標が設定されていると評価できる。 ・実務経験のある教員については、非常に重要な取り組みであり、教育の質向上に大きく貢献している。 ・飲食業界からの評価はよく(卒業生を安心して受け入れていただいている)、理念や目的は達成していると思う。 <p>▶要望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も、食育・食文化・業界の発展に寄与する教育機関としての役割を期待したい。 	4
2 学校運営	<p>▶意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人の拡充、育成は現場も学校も大きな課題である。「教育」は簡単にAIに取って代われないため、より質の高い教育や手厚い学生支援を施そうとすればするほど仕事量が増えるが、最適解を目指してもらいたい。 ・一社依存のシステムは柔軟性を欠き、問題になることもある。現在の複数社による体制を維持した方がよいと考える。 ・時間割など、既存の汎用ソフト(エクセルなど)を活用するなど、システムに縛られない運用でいいのではないかと。 <p>▶要望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DX等による学生支援を更に推進されることを期待したい。特に、入学前や新学期は混乱しがちであるため、サポート体制が構築されていると学校サイドの負担も軽減されるのではないかと。 ・「多様性を包摂する」という言葉が登場した。「共に生活する」インクルージョンという考え方。さらなる研修を行い、いちちはやく取り入れていくのはいかがでしょうか。 	4
3 教育活動	<p>▶意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実務経験のある教員による授業が非常に有益。自身の店舗や会社での実例を交えた授業が多く、基本だけでなく応用的な知識(機材の選び方、加工の工夫、経営の視点など)も学べる。 ・年間の授業計画、時間割があり、何を学ぶのか分かりやすく示されているので、学びやすい環境が整っている。 ・教員の評価について、評価とフィードバックを通じて教育の質を維持しようとしていることがわかった。 ・学校で学ぶ意義は「対話・考える力・他者との違いに気づくこと」にある。グループワークなどを通じて、異なる考えに触れ、定着を図ることが必要。現在実践している教育を評価したい。 <p>▶要望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートとは別に、教材の誤植などを伝える機会があるとよいのではないかと。 	4
4 学修成果・教育成果	<p>▶意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「希望者全員就職」は非常に価値ある成果である。 ・資格取得率の向上という面から技能考査受検を必須にしてもよいと感じた。 ・資格取得率の向上のため、卒業後も製菓衛生師試験対策として教材(eラーニング)が使用できるとよい。 <p>▶要望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職率は素晴らしい成果。定着率、離職率についても、学校として、更なる取り組みを行ってほしい。 	4
5 学生支援	<p>▶意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2号、第3号委員からの意見を聞き、生徒に寄り添った教育現場である事がわかり、学校側の献身的な努力が高く評価されるべきと感じた。 ・生徒同士も協力する体制を整え、退学者を減らす努力をしないと、学校側だけでは手が回らず大変ではないかと。 ・心のケアは重要である。退学を防ぐために、保証人への連絡や面談など様々な対策をされている事は素晴らしいと思う。 ・コンテスト活動などについても、技術面/精神面でサポートされていることを評価したい。 <p>▶要望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・退学率の問題については、様々な課題が背景にある可能性がある。初期面談時にチェック項目を設け、継続的に情報を追跡する仕組みが有効ではないかと。(システム化への提案) ・「生徒の小さな変化に気づくこと」が教職員の重要な役割であると考え。面談や声がけなど継続して取り組んでほしい。 	3
6 教育環境	<p>▶意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衛生面にも配慮が行き届き、業界の人材を育てるための素晴らしい環境であると思う。 <p>▶要望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職活動としてのインターシップ、もう少し早い時期に取り組みると、生徒の選択肢が増えるのではないかと。 	4

7	学生の受入れ募集	▶意見	4
		・オープンキャンパスは、親切でわかりやすい説明があり、評価できる内容である。ただ、まだまだ学校の認知度は低いように感じる。	
		・ホームページに記載されている奨学金の説明は、わかりやすい内容である。	
		▶要望 ・入試選考会場について、今後検討してもよいのではないか。(※一部の入試において)	
8	教育の内部質保証システム	▶意見	4
		・卒業後のキャリア形成の効果を把握するためにも、卒業生と学校との関係を維持していくことが必要。SNSは接点となる重要なツールである。	
		・卒業生との接点として「相談できる環境」を整えることも必要。	
		▶要望 [特になし]	
9	財務	▶意見	4
		・適切な体制の基、学費が運用されていることがわかった。計画的に学校運営が行われていると評価できる。	
		・少子化の中で学校を維持し続けるのは難しいと感じているが、これからも適切な学校運営を維持していただきたい。	
		▶要望 [特になし]	
10	社会貢献・地域貢献	▶意見	4
		・開校1年目のなかで、小学校との連携や子ども食堂への無償提供など、地域貢献や社会活動にも力を入れていることは素晴らしい、大変評価できる。	
		▶要望 ・小金井市給食の連携について大変感謝している。これからも引き続き協力いただきたい。	
11	国際交流	▶意見	4
		・日本語能力サポート授業や専任スタッフ、担任制度など、留学生対応について素晴らしい取り組みをしていると評価できる。	
		・留学生に対して、専門職員が声を掛けて寄り添っている場面をよく見ていた。留学生にとって安心できる環境だと思う。	
		▶要望 [特になし]	